

令和5年度 第3回 学校評議員会（コミュニティースクール推進委員会） 議事録
浅間中学校

1 日時 令和6年1月22日（月） 14:25～15:15 5校時：授業参観
15:25～16:15 学校評議員会

2 会場 浅間中学校 会議室

3 参加者 秋山久幸様、東城由次様、三石宗一様、大工原秀樹様
学校長（宮島）、教頭（川上・市川）

4 内容

（1） 学校長挨拶

・「情操高く 知は深く」に向け本校の本年度の取組から

①基本的な生活姿勢 ②日常の授業の充実 ③探究的な学びの取組

1年生制作の浅間中学校紹介プロモーションビデオ視聴

（2） 議題

①学校の様子

*資料に基づき、下記の様子を説明

・学校評価アンケートの結果から

・体罰実態把握のためのアンケート結果から

・フリーラーニングの取組

・「私たちの『学び』を考えるパネルディスカッション」について

・全国学力・学習状況調査から

②学校評議員の皆様からのご意見（授業参観の様子や学校の説明から）

○フリーラーニングなど浅間中独自の取り組みがよい。パネルディスカッションも学びについて考える良い機会。自分の目標になる。自分の個性に気付く。自分が中学生だったとき、そこまで考えていたか。

○自分は、授業は受けていただけだった。自由に教え合ったりすることはいいことだ。

○スピーチをしている授業もあった。これからの役に立つ。先生たちとの距離もいい意味で近い。パネルディスカッションのチラシには、実行委員に2年生の生徒の名前があった。今までの学校にはなかったこと。いいことだ。

○一人一台端末の扱いが素晴らしい。キーボードタッチなど使いこなしている。

(校長より) 危険性もはらんでいるので、年に数回、SNSとの付き合い方の学習もしている。

○学校評価を生かした学校運営がなされている。相談の時間など設けていてよい。来年度の水曜日の午後の取り組みも良い。

○先生に聞ける生徒もいるが、それ以外の生徒もいる。先生方から声をかけ、コミュニケーションをとってほしい。

(3) 学校長より

・いただいたご意見をもとにしながら、学校評価アンケートをまとめて、2月に保護者配付、ホームページ掲載を行う。

・今後も、学校教育活動について、ご意見をいただきたい。

5 評議員感想用紙から (抜粋)

○3年生は進路を目前にして真剣な取り組みが見られた。探究的な学習は、外へ出たり自ら調べたり、授業の広がりが生きているのではないか。学校評価は、適切に位置付け、望ましい方向を創立しようとしている。引き続き、生徒のよさ、がんばりを認め励まし、自己肯定感を高めて欲しい。浅間中生の活躍、新聞紙上はもとより、学校からも発信していることが素晴らしい。

○授業に集中している生徒がほとんどである。数学では、3人で検討しながら、答えを求めていた。人前でのスピーチは、将来役に立つと思う。1、2年前より、学校の取り組みが大きく変わったと思われる。

○自分たちの時代との授業のちがいがあり、プログラミングやスピーチなど、将来実際に役に立つ内容で良いと思う。先生と生徒の距離が近くてよい。生徒がSOSを出すためにも、先生との距離が近いことは良いと思う。校内がきれいに清掃されていてよい。

○ノートをしっかりとって、自分で工夫しながら書いている子供もいて感心した。わかる生徒がしっかりと友だちに教えていたり、集まって意見交換したりしていて良いと思った。生徒が自分で質問に行っていて自主性がある。先生と生徒の距離が近く、生徒も意見が言いやすいと思う。美術で印鑑を作っていたが、生徒たちが楽しそうで、それぞれの個性が出ていて良いと思う。学校評価アンケートなど親と子の意見も考えてくれて、それを参考に学校側が改善してくれている。生徒一人一人の個性を考えて、いろいろな取り組みをしていてくれている。